

# 文法は、読解や 設問解答の要だ!!



文法と単語の丸暗記だけでは、一部の問題でしか得点できません。文法や単語の力を読解にも生かし、さらに、設問解答の際の確かな手がかりとしましょう。今回は、実際に入試で役立つ文法学習のポイントを教えます!!

## 東進国語科講師・伊東 潤先生による紙上講義!



### POINT 1

## 用言の活用を完璧にせよ!

文法学習の最終到達点は、識別を正確にできる力を身につけることです。識別の際に最初にするべきことは、その箇所が、一単語なのか、それとも、単語の一部なのか、を判断することです。また、識別では直前の語の活用形が決め手になることが多いのですが、これらは1年生でも学ぶ用言の活用がどれほど完璧になっているにかかっているのです。次の例題を解いてみてください。

例題1 下線の付された部分の文法的説明をせよ。

- a あはれなることも、……      b 若き女の、美しきなる、……  
 c 若き女の、美しかるなる、……      d いと美しければ、……  
 e いと美しかりければ、……

aは形容動詞「あはれなり」の連体形語尾。形容動詞の活用はこの語で学んだ人が多いはず。[しみじみとしている]などと訳す必修単語でもあります。

bは断定の助動詞「なり」の連体形。「美しき」は形容詞「美し」の本活用(一般に活用表で右側に書かれる形)の連体形。本活用の連体形に接続する「なり」は断定(～だ・～である)の助動詞です。

cは伝聞・推定の助動詞「なり」の連体形。「美しかる」は形容詞「美し」の補助活用(活用表で左側に書かれる形)の連体形。補助活用の連体形に接続する「なり」は、伝聞(～そうだ)・推定(～ようだ)の助動詞です。

dは形容詞「美し」の已然形の一部。「美しけれ」が「美し」の已然形なのです。「過去の助動詞!」と答えるのは早合点です。

eは過去の助動詞「けり」の已然形。「美しかり」が補助活用連用形で、そこに連用形接続の助動詞「けり」が接続しているのです。

「あはれなる・美しき・美しかる・美しけれ・美しかり」が一語だと判断し、その活用形から接続する語を考えるという識別の過程で、まず大事なのが用言の活用なので、用言の活用は完璧でなくてはなりません。なお、形容詞の活用では、本活用と補助活用の違いも理解しておいてください。

#### + a 本活用と補助活用

形容詞・形容詞型活用助動詞(たし・まほし・べし・まじ・ごとし)・助動詞「ず」のように、活用表に書いた時に左右2パターンの活用がある語は、本活用(右側に書かれる形)に助動詞以外の語が接続し、補助活用(左側に書かれる形)に助動詞が接続する。ただし、断定の助動詞「なり」は、本活用の連体形に接続する。



### POINT 2

## 助動詞も、接続・活用を完璧に! 複数の意味を持つ助動詞は、どのような場合に どの意味になるのかを明らかにしておこう!

まず基本的例題を解いてみてください。

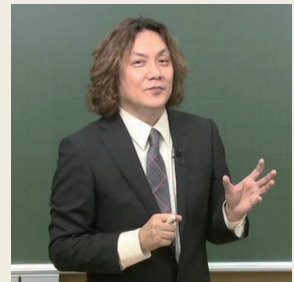
例題2 下線の付された部分の文法的説明をせよ。

- a 花咲かぬ時は、……      b 「花咲きぬ」とて、……  
 c 人起きぬ。      d 人起きぬに、……      e 人ぞ起きぬ。



## 東進国語科 古文講師・伊東 潤先生

古文を堅苦しくなく、現代感覚で解説する。基礎に何度でも立ち返りながら進んでいくその指導方法は、圧倒的な支持を得る。何もわからないという最初の一步から完璧な基礎作り、そして難問解法まで本番で役立つ実力を養成する。落ち着いた口調に熱さを秘めた授業を展開する。



aは打消の助動詞「ず」の連体形。「咲か」が四段活用未然形。未然形に接続する助動詞「ず・む・むず・じ・る・らる・す・さす・しむ・まほし・まし」の中で、「ぬ」になるのは、「ず」が連体形(本活用)の時。

bは完了の助動詞「ぬ」の終止形。「咲き」が四段活用連用形。連用形に接続する助動詞は「つ・き・ぬ・けり・けむ・たり[存続・完了]・たし」。この「ぬ」は完了の助動詞。

cは完了の助動詞「ぬ」の終止形。「起き」は上二段活用の未然形か、連用形なので、その接続からでは識別ができないが、「ぬ」の後は句点で文が終わっているので、「ぬ」が終止形だとわかる。

dは打消の助動詞「ず」の連体形。「起き」が未然形か連用形か不明なので、後ろを見ると、文が続いている。「ぬ」が終止形なら、文は終わるか、終止形接続の助動詞等が接続しているはず。この「ぬ」は終止形ではないのですから、「ず」の連体形です。後に体言が省略されているか、直後の「に」が連体形に接続する接続助詞だと考えれば、この「ぬ」が連体形であることは納得できるはず。

eは打消の助動詞「ず」の連体形。「起き」は未然形か連用形か不明な形ですが、後ろはcと同様に終わっている。しかし、よく見ると、この文には係助詞「ぞ」があります。係助詞「ぞ」は結びの語を連体形にする係り結びをつくるので、「ぬ」は「ず」の連体形です。

見た目は全く同じでも、助動詞の接続(何形の語に付くか)や、それ自体が何形であるかを見れば、識別はできるのです。

次は、助動詞の意味の判断です。解いてみてください。

例題3 下線の付された部分の文法的意味を答えよ。

- a 花も咲かむ。  
 b 「われ、花を見に行かむ」とて、……  
 c 花咲かむ時には、……  
 d 「ともに花をこそ見に行かめ」とて、……

助動詞「む」は、推量(～だろう)・意志(～しよう)・婉曲(～ような)・適当(～する方がよい)等、複数の意を表しますが、判断の基準は次の通りです。

#### + a 助動詞「む」の意味の判断

- 「む」自体が連体形である場合は、ほとんどの場合に婉曲!(係り結びの結びとして連体形になっている場合は除く)
- 係助詞「こそ」による係り結びの結びとして已然形「め」になっている場合は、適当であることが多い!ただし、推量や意志であることもある。
- 推量か意志かは訳して判断するのがよいが、一人称主語である場合は意志、そうでない場合は推量であることが多い。

裏面へ続く! ➡



つまり、cの「む」は直後に体言があり、連体形なので、①の状態で婉曲。dの「め」は係助詞「こそ」の結びで、②の状態なので**適当**。aとbは①・②に当てはまらないので③ですが、aは**推量**の訳が当てはまります。bは推量も**意志**も当てはまりそうですが、「われ」が一人称主語なので意志と判断します。

助動詞がどのような場合にどの意味になるかを知っておけば、文法問題だけでなく、口語訳・内容に関わる設問にも自信をもって解答できるようになります。



**POINT 3**

**助詞は訳し方を完璧に! 「ば・なむ」は接続も覚えよう!  
係助詞は係り結びの規則だけでなく訳し方も完璧に!**

助詞は活用がなく、接続を覚えるべきものも少ないので、覚えるべきことの中心は訳し方です。例題を解いてみてください。

**例題4** 次の各文を現代語訳せよ。

- a 人だに行かで、……
- b 文だに見ばや。
- c 大きな舟かな。
- d 大きな舟もがな。
- e 人やある。

副助詞「だに」は、打消と呼応している場合は「さえ」、希望・意志・仮定等と呼応している場合は「(せめて)～だけでも」と訳します。接続助詞「で」は打消を表して「～ないで」と訳しますから、aは「人さえ行かないで、」と訳します。また、終助詞「ばや」は願望を表して「～たい」と訳しますからbは「手紙だけでも見たい。」と訳します。終助詞「かな」は詠嘆を表して「～なあ」と訳しますから、cは「大きな舟だなあ。」と訳します。終助詞「もがな」は願望を表して「～があってほしいなあ」等と訳しますから、dは「大きな舟があってほしいなあ」と訳します。係助詞「や」は、結びを連体形にする係り結びを起こしますが、一般に疑問の意を表しますので、dは「人がいる(の)か。」と訳します。助詞は訳し方が重要なのです。では、次はどうでしょう。違いがわかりますか。

**例題5** 下線部の助詞に注意して、各文を現代語訳せよ。

- a われかく女に言はば、……
- b われかく女に言へば、いみじく笑ふ。
- c 「かく言はなむ」と思ひて、……
- d 人のかく言ふなん、うれしからむ。

接続助詞「ば」の用法は次の通りです。

**+ a** 接続助詞「ば」の用法

- ①未然形に接続している場合は、**仮定条件**を表し、「もし～ならば」と訳す。
  - ②已然形に接続している場合は、**確定条件**を表し、「～(する)と・～(した)ところ」、もしくは、「～ので・～から」と訳す。
- ※②の場合、「ば」の前で主語が変わる可能性が高く、「ば」の前で動作の受け手であった人物が、「ば」の後ろで主語となることが多い。

aは「言は」が未然形ですから、「私がこのように女に言ったら、」と訳します。「かく」は「このように」と訳す副詞です。bは「言へ」が已然形ですから、「私がこのように女に言くと(ので)、女はたいそう笑う。」と訳します。「いみじく」は「たいそう」と訳す形容詞「いみじ」の連用形。bの「ば」は確定条件ですから、「ば」の前で「言ふ」の受け手である「女」が、「ば」の後ろの「笑ふ」の主語となる可能性が高いのです。

また、「なむ」の識別は次の通りです。

**+ a** 「なむ」の識別

- ①未然形に接続している「なむ」は、他者への願望(あつらえ)の終助詞で、「～してほしい」と訳す。
- ②連用形に接続している「なむ」は、強意・完了の助動詞「ぬ」の未然形「な」に、推量・意志等の助動詞「む」が接続している状態で、「きっと～だろう・必ず～しよう・～するのがよい・～できるだろう」等と訳す。
- ③「往なむ・死なむ」の「なむ」は、ナ変動詞未然形語尾に推量・意志等の助動詞「む」が接続している状態。二例のみ。
- ④①～③以外の「なむ」は、強意の係助詞で、訳さなくてもよい。

よって例題5のcは「言は」が未然形ですから、「なむ」は終助詞で、「『このように言ってほしい』と思って、」と訳します。dは「言ふ」が連体形ですから(終止形なら終わっているはず)、①～③以外の状態で、「なむ」は係助詞です。「人がこのように言うのは、嬉しいだろう。」と訳します。「なむ」は訳しませんが、後方へのつながりをスムーズにするために「のは」を補っています。

以上のように、文法は、文法問題を解くためだけのものではなく、**文意を知るためのもの**です。活用や接続による正しい識別ができ、その訳し方がわかるようになれば、読解力は格段に上がるはずですよ。

**POINT** や**+ a**の確認はできましたか。それでは最後に、君の力を試してみましょう。次の各文を現代語訳してみてください。



- ①御いらへもなかりしかば、
- ②さらぬ別れはなくもがな
- ③(門の上に)いかにも上りぬべくもおほえねど、
- ④「あだなれとやおぼす」など言ふ。
- ⑤汝の言はむことを、われも聞きなむ。

正解・解説は、webで!

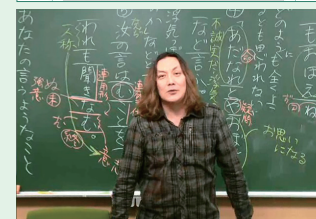
**今すぐアクセス 解説授業を  
東進ドットコムで限定公開中!**

Web限定・伊東先生の特別解説授業はこちら!

[www.toshin.com](http://www.toshin.com)

学力増進号

検索



ハッキリ言って合格実績が自慢です!! 大学受験なら、

**TOSHIN TIMES**  
発行  
東進本部  
発行人  
永瀬昭幸  
本部  
〒180-0003 東京都武蔵野市  
吉祥寺南町1-29-2  
編集  
株式会社ナガセ広報部  
TEL:0422-44-9001  
禁・無断転載

**東進ハイスクール**  
0120-104-555  
**東進衛星予備校**  
0120-104-531  
東進 検索  
東進公式 Twitter 東進公式 Facebook  
172大学の過去問も閲覧可!!  
東進ドットコムはスマートフォン・ケータイからもアクセスできます!